

言いたい、聞きたい、できた、楽しい！があふれる言語活動の工夫

本單元では、丁寧な言い方で注文をするやり取りを学びます。第1時では、注文をする表現、第2時では、注文を尋ねる表現、第3時では追加の注文を尋ねる表現、第4時では、値段の言い方、そして本時である第5時では、値段の尋ね方、第6時では、パフォーマンステスト、第7時では、ペーパーテストを行います。ウェイターのトレーニングを経て、自分たちのレストランを開店するストーリー性のある単元計画になっています。

＜ 値段を尋ねるようになろう ＞
How much is it? It's 480 yen.

1. 値段を尋ねるようになろう。

120 yen	240 yen	480 yen	500 yen	630 yen
750 yen	880 yen	910 yen	1000 yen	

2. 値段を尋ねて、1000 yenで値段を問おう。





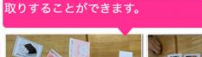
1つ1つ 1つ5個 1つ10個

Activity1で学んだことを確認します。友達と教え合いながら定義を図ります。

お小遣いは1000円とすることで、値段を尋ねる必然性を生み出します。

学習を振り返ります。

商品の値段は、裏に書きます。それぞれのレストランのメニューが異なるので、意図的に楽しみながらやり取りすることができま。



子どもたちの感想

あと150円、ジュースが買いたい。値段を尋ねることができた。Y. 値段の尋ね方がわかったので、次に生かしたいです。英語を楽しんで学べました。A. うまく値段が言えた。次はリアルにお店をしてみたいと思った。M.

1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を

40、60、70、80、90を反復練習したあと、20、30、50、100に線が引いてあるのはどうしてだと思えるかを尋ねます。

1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を

20、30、50、100に線が引いてあるのはどうしてだと思えるかを尋ねます。

1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を

30から数を引いて、表し方の仕組みに気づかせます。

1000と1000は別のカードを用意し意識させます。

1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を
1000と100を

十の位にさらに隠す重なりを作ることで表し方の仕組みの理解を深めます。

評価

(文部科学省 視学官 直山 木綿子)